

謹賀新年



新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より八代市政の発展に、多大なご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、私も、市長2期目の折り返し点を過ぎ、基幹産業のひとつである「産業」において、刈取り機の導入が完了し、さらには、民間企業と連携し、全国的な八代産量表の認知向上・需要拡大のための協議会を設立するなど、産業の復活に向けた大きな一歩を踏み出しました。

また、子育て・教育関連では、「こども医療費助成」において、18歳まで対象を拡充するとともに、産後の子育てを支援する「産後ケア事業」の導入、そして、幼稚園・保育園における国の保育料無償化に加えて、市独自で「給食費の軽減」を実施しました。さらに、市内全ての「幼稚園や小中学校へのエアコン設置」は、本年度中に完了します。今後も、子どもを産み育てることに喜びを感じられるようなまちを目指し、切れ目のない子育て環境の一層の充実に取り組みでまいります。昨年は、本市にとって、「スポーツの年」でもありました。8月には「全国高等学校総合体育大会」、また11月

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた初春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本市議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風や豪雨による自然災害により、日本各地で甚大な被害をもたらしました。現在も多くの方々が避難生活を余儀なくされており、大変なご苦労の中におられることに對し、心を砕かずにはおられません。改めて、自然の脅威と同時に防災対策の重要性を感じた一年でありました。

一方、国内で開催されたラグビーや野球などの世界大会において、これまで以上の成績を残すなど、日本全体が活気にあふれました。また、新たな元号「令和」がスタートし、次の世代、新しい世代での大きな飛躍が期待されるニュースに包まれ、人に夢と希望を与える一年でもありました。

さて、本市に目を向けますと、平成8年の中国北海市との友好都市締結をはじめ、一昨年の台湾基隆市との友好交流協定の締結に続き、昨年9月には台湾バドミントン協会との友好交流覚書の締結がなされました。また、11月末からは「2019女子ハンドボール世界選手権大会」が開催され、県内5か所の会場の

恭賀新年



末から「2019女子ハンドボール世界選手権大会」が開催されました。特に「女子ハンドボール世界選手権大会」では、世界最高峰の迫力あるプレーが多く、観客を魅了し、将来を担う子ども達や市民の皆様が夢と感動を与えていただきました。そして、今年5月には、本市も「東京2020オリンピック・パラリンピック」の「聖火リレー」のルートおよびセレブレーション会場のひとつとして、ムードの高まりを感じています。さて、今年は、いよいよ八代港に整備中の「くまモンポート八代」が3月末に完成いたします。この「くまモンポート八代」を海の玄関口として、これまで以上に海外からのお客様が八代を訪れます。中心市街地のまちづくりの核となる「市役所新庁舎」や「八代民俗伝芸館（仮称）等」の建設を着実に進めながら、万全のおもてなし体制を整えるとともに、まちの賑わいや地域経済の活性化につなげてまいります。さらに、「八代・天草シーライン建設促進」につきましても、かつてない機運の高まりのなか、皆様の希望の架け橋となるよう一丸となつて取り組み、県南を牽引する熊本第2の都市として、更なる飛躍の年にしなければならぬと考えています。また、昨年は、度重なる台風や豪雨などの記録的な暴風雨による甚大な被害が発生しており、防災対策の更なる強化にもスピード感をもって取り組みます。

令和の時代に、本市に住む誰もが「故郷（ふるさと）」やつしろを誇りとし、末永く、幸せに暮らしていくためには、行政と民間企業や団体、そして市民の皆様が一体となり、まさに「オール八代」でまちづくりを進めることが必要不可欠です。

皆様におかれましては、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

八代市長 中村 博生



うち、八代会場においても大きな盛り上がりを見せ、私達に間近で見える世界の国々の選手たちの表情、力や技など素晴らしい感動と希望を与えてくれました。

さらに、現在、クルーズ拠点港である八代港では、国、県、クルーズ船社が取り組んでいる「くまモンポート八代」の整備が鋭意進められております。今後、クルーズ客船の誘致をはじめ、人流・物流における熊本を象徴する港として、国内外からのお客様に親しまれる港への成長が大いに期待されます。本年は、このほかにも、「八代民俗伝芸館（仮称）」や本町のシンボルロードなどの整備も進められており、中心市街地、さらには市全体の活性化につながるものと思っております。我々、市議会としても、本市のさまざまな課題に對応しながら、若い世代が八代の将来に夢を持ち希望に満ちた生活を営むことができ、より幸せを実感できる八代市となるよう全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

どうか、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

八代市議会議長 上村 哲三

平成31年・令和元年 市政10大ニュース

中心市街地のまちづくりの核に



新庁舎、八代民俗伝芸館（仮称）が令和3年中の完成を目指し建設工事を開始。併せて、市役所庁舎から商店街に向けて人の流れを創出するため、こいこい通りの再整備がはじまる。

災害に備える

校区別の避難所や危険箇所を記載した「地域防災マップ」を改定し各世帯に配布。また、携帯・固定電話、野外スピーカー、個別受信機へ防災情報を一斉配信できるように、新たな防災情報通信システムの整備がはじまる。さらに、全国女性消防操法大会で八代市消防団八代方面隊本部分団が初優勝。

子どもを安心して産み育てられるまちへ

産後の子育てを支援する「産後ケア事業」の導入。国の幼稚園・保育園における保育料無償化に加えて、市独自で「給食費の軽減」を実施。また、「こども医療費助成」において、対象を18歳までに拡充。

産業の再興へ



八代産イグサ、畳表の再興を目指し「八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会」を設立。大都市での広告宣伝や新しい商品開発などを行う。

本町アーケードにIT企業が進出

産業振興や雇用拡大を目的として、本市が重点的に誘致したIT関連企業が本町アーケードに3件進出。市全体では過去最多4件の情報関連企業が進出。また、製造業などの新設・増設も新市施行後最多だった昨年に上回る20件となった。

スポーツ王国八代 トップアスリートが躍動



全国高等学校総合体育大会のバドミントン競技、アーチェリー競技開催。郡司莉子選手（八代白百合学園高校2年）がバドミントン・シングルスで優勝し、世界ジュニア選手権でも優勝。また、2019女子ハンドボール世界選手権大会が開催され、多くの市民が観戦し、海外からの報道関係者や応援団が本市を訪れた。

みんなで協働の まちづくりに取り組む

市民等と市が力を合わせて安らぎと活力ある地域社会を築くために「八代市協働のまちづくり推進条例」を制定施行。

世界に飛躍する八代港



海の女王と呼ばれる豪華客船クライン・エリザベスが初寄港。本年4月に供用開始される八代港クルーズ拠点の愛称が「くまモンポート八代」に決定。

安全で快適な学校づくり

子どもたちの健康維持と学習環境の充実を図るため、幼稚園・中学校普通教室などへのエアコン設置が完了。小学校のエアコン設置と幼稚園・小・中・特別支援学校ブロック塀改修工事は本年度内に完了。

2020年 東京オリンピック・パラリンピックの ホストタウンに登録決定

2020東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾のホストタウンに登録。また、台湾バドミントン協会、熊本県・八代市の両バドミントン協会、そして本市の4者により、スポーツ分野における協力の進展を目指し、「スポーツ分野における友好交流覚書」を締結。